

シンプル版

笑顔のタネ

～未来を笑顔に変えるコツ～

墮悪ピエロ 著

笑顔の未来をつかむためのタネたち

自分の人生はまだ四十数年しか経ってはいませんが、日々いろいろな出来事があります。

『人生山あり谷あり』と言われるますが、人生のほとんどが谷の状態の方が多いのではないかと感じられるほど、今まで壮絶な？体験をしてきました。

仮死状態での出産から、イジメ体験に大切な人たちとの永遠の別れなどなど・・・。

そんなつらい谷ばかりの人生体験の日々だと感じていても『プラス思考』と『絶対に諦めないココロ』で生き抜き続けていたら、いつの間にか『幸せを感じられるココロ』を手にすることができました。

そんな著者が、今までの実体験をもとに『ピエロ流ピンチ脱出法』みたいなものを考えて書いてみました。

この作品を通して読者のココロの中に『笑顔の未来』をつかむキッカケとなるようなタネたちを蒔くことができ、これからの人生の中で少しでも何か変わってもらえたならという想いで執筆してみました。

なおこの作品はシンプル版のため、3つのテーマのみとなっております。

ゆっくりでもいいから前に進んでみませんか？

最近、他人のことは考えずに平気で相手を傷つけてしまったり災害などつらく悲しいことの方が多いと感じられるような時代ではないかと感じられます。

このようなことが多い時代だからいろいろ悩んでしまったり、ココロが折れてしまったりなどで傷ついてしまったとしたなら、誰だって前に進む勇気や気力などもなくなってしまい、その場所に立ち止まってしまうこともあるかもしれません。

でも「もう、つらい思いや悲しい思いはしたくない！」からという思いだけで、その場所に立ち止まってしまったとしたならば、その先の未来は何も変わらないのではないのでしょうか？

それにちょっと不謹慎かもと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、人にはそれぞれ与えられた寿命というものがあると思います。

人は生まれた瞬間からその寿命という導火線は燃え始め、いずれは燃え尽きてしまいます。

それがいつ訪れるのかは、神様以外は誰にもわかりません。

だからこそ『少しでも前に進んでみよう！』という気持ちを諦めてしまって、つらさや悲しみの場所に立ち止まってしまっていたとしたら『人生もったいない！』のではないのでしょうか？

それに、つらさや悲しみ・悩みなどと真剣に向き合って頑張った人のところには、本当にピンチになり『もうダメだ！』と思った時にこそ、意外と救世主が現れるものではないかと自分は思っています。

その救世主というものは、人であったり言葉であったりと人によっていろいろな形で現れると思います。

また自分自身、救世主というものについては、次のような考え方をもっています。

その救世主というのは、今は亡き大切な存在だった人たちなどから、今を頑張っている人が成長したり、豊かな人生を送ってもらいたいためのプレゼントや応援メッセージではないかと。

『つらいかもしれないけど、自分たちの人生の分も頑張ってお返しして、後悔しない人生を送って欲しい。』というメッセージも一緒に込められているのではないかと。

だからこそ、自分に与えられた人生を諦めずに、もっと大切に生き抜いて欲しいのです。

そしていつの日か、天国で大切な人たちと再会できたとしたなら『人生いろいろあったけれど、あなたの大切な人生の分も頑張ってお返ししましたよ！』と、伝えられるような人生を送って欲しいのです。

だから今はたとえピンチになったとしても、いつか救世主が現れることを信じて、少しずつでもいいですから、自分のペースで前に進んでみてはいかがでしょう？

今日が最悪の日だったとしても、明日はラッキーで素晴らしい日が訪れるかもしれないのですから！

『一寸先は闇』ではなく『一寸先は光』を信じて…。

物事の受け止め方

人は、失敗やつらいことなどを経験したりすると、つい「自分はもうダメな人間なんだ。」などと、ネガティブな気持ちや思い悩んだりすることもあるかもしれません。

お恥ずかしいお話ですが、自分自身も今まではいつもそのような思いばかりで生きてきましたから・・・。

でも、本当にそうなのでしょうか？

そもそも、失敗やつらい経験をしない人などは存在しないと自分は思うのですが・・・。

それに、もしかしたら失敗などをしてしまったとしても、その人が人間としてダメなわけではないと思いますし失敗したことについても、何か他の選択肢や可能性もあるのではないかと思ったりもしませんか？

また、もしかしたら失敗やつらい経験などによって、今までは気づかなかった何かを得られるものもあるかもしれません。

失敗などは、すべてがマイナス面ばかりではなくて、もしかしたら今まで自分では気づかなかった、秘められた能力を引き出すためのアクシデントと考えてみたら、少しはラクな気持ちで過ごすことができるのではないのでしょうか？

出会いや縁を大切に！

以前、何かの番組で『出会いは宝』と話していた方がおられました。

自分も、まったく同感だと思います。

良い出会いや縁というものはいくら大金があったとしても、絶対に買えるものではありません。いくら欲しくても買うことはできないと思います。

だからこそ『宝物のように大切にしなければならないもの』だと思います。

自分の場合はどん底に落ちるたびに、この出会いや縁だけでなんとかピンチをクリアし続けて、あれこれ試行錯誤しながら、シアワセを感じられる今の居場所までたどり着くことができました。

確かに新しい出会いというものは緊張してしまったり不安など感じることもありますが、案外楽しいものではないのでしょうか？

自分の場合も、初対面の方などに会う時はやはり最初は緊張などはしますが、人との出会いはすごく楽しく勉強になることも多いので、会いたいと思った人には会いに行く努力をしております。

それがキッカケかどうかはわかりませんが、自分の夢をサポートしてくれる大切な人たちとも出会うことができました。

本当に、その出会いや縁によっては自分自身のレベルアップや夢の実現、もしかしたら今まで平凡だった人生をも大きく変えてしまうような『運命の人との出会い』というような出会いなどもあるかもしれません(笑)

いろいろな気持ちもあるかもしれませんが良い出会いをたくさんし、人との縁を大切にしてください。

もっとも、ナンパや出会い系はあまりオススメできませんけどねえ・・・(汗)

自分自身も『出会えて良かった～！』と思われるよう、もっとレベルアップしておかなければなりませんね～！

すべてではありませんが . . .

最後まで読んでくださりまして、本当にありがとうございました。

この作品は、以前自費出版をした『ざまあみろ!』という作品の巻末に付録となっていた『ピエロ式ピンチ脱出法』という作品の中から、自分自身特に心の中に大切にしている行動してきた言葉を選び、ひとつの作品にしてみました。

この作品は、シンプル版として3つのテーマしか掲載しておりませんが、この3つのテーマで自分自身『どん底人生』から這い上がることができた、人生の中でとても大切なものです。

これを実践してすべての方がどん底から脱出できるという保障はありませんが、ひとりでも多くの方にシアワセが訪れることを信じております。

また、新たなテーマなどを加筆した改訂版も計画中でございます。

それでは、みなさんに感謝とシアワセが訪れますように☆

2012.9

墮悪ピエロ

著者紹介

墮悪ピエロ (ダークピエロ)

1968年 埼玉県生まれ。

無理な出産が原因により仮死状態で生まれ、脳性まひの後遺症が残る。

小・中・高校ともに普通校に通うも、障害があることによりいじめを受け続ける。

高校卒業後は、地元の印刷会社14年間勤務していたが、身体を理由に退職。

退職後はいろいろな経験をしながらも、知人の紹介で2004年『東京バリアフリー地獄』という雑誌記事でライターデビュー。

同年、自費出版ながら墮悪ピエロのペンネームで『ざまあみろ!』を出版。

『障害者=感動作』の壁を壊したく、あえてヒール系のペンネームを付ける。

その後、障害者サポートのNPOに転職するも長年持ち続けていた夢を諦めきれず、2008年にメンタル心理カウンセラーやうつ病アドバイザーなどの必要資格取得。

関係サイトなど

人情カウンセラーピエロの日常

<http://ameblo.jp/aqua-aura01/>

ピエロの個人ブログです。

ボランティアグループ クロスロード

<http://egaomankai.ongaeshi.biz/>

こちらは、ボランティアグループクロスロードのサイトでございます。